

令和8年度

徳島県小学校教育課程研究集会 【国語】

国語科における 生成AIの価値



「主体的・対話的で深い学び」へのアプローチ

✓ 主体的・対話的な側面

- 自らの考えをAIにぶつけ、反応を得る能動性
- 自分以外の視点（AIの提案）を取り入れる対話
- 「なぜAIはそう言ったのか」を問う批判的思考

✓ 深い学びへの側面

- AIの案と自分の案を比較・吟味する高度な推敲
- 叙述に基づいた「問い」の生成プロセス
- 言葉を対象化し、表現の意図を再構築する体験

国語科の学びに広がりをもたらす3つの効果



思考の加速器

「書くこと」のハードルを下げ、アイデアのヒントを瞬時に提供する。



客観的な鏡

自分の文章をAIに分析させ、論理の矛盾や言葉の誤りに気づかせる。



視点の拡張

自分一人では到達できない多様な語彙や解釈への架け橋となる。

生成AIを活用した 授業実践例



[実践例① 高学年]

俳句の推敲：AIの提案から自分の感性で選び抜く



自作の句を作る
(たたき台として入力)



AIとの対話
(壁打ち・表現の拡張)



児童の「感性」による最終決定
AIの提案をうのみにせず、自分の「感性」
で言葉を選び抜き、最終決定する



Point: AIに「作らせる」のではなく、
自分の句の「良さを引き出すアドバイザー」として活用する。

[実践例② 中学年]

生成AIとのやりとりでインタビュー力を育てよう！

わたしは4年生です。
あなたが今がんばっていること
を教えてください。



わたしがいちばんがんばっ
ていることは、サッカーの
練習だよ。
この前のしあいで負けて…



AIに特定の役割をもたせる。
(ロールプレイ)



どのような質問にもAIが必ず答
えてくれる(不適切な質問には
優しく注意する設定)



音声入力で、自然なやりとり

発達段階に応じた活用モデルの対比

項目	下学年	上学年
 形式	 教師主導・全体提示	 目的を明確にした個別利用
 目的	 AIの仕組みや可能性を知る 情報モラルに触れる	 自分の思考を拡張するための 道具として活用する
 端末操作	 教師がモニターで全体に提示 し、クラス全員で考える	 子供が1人1台端末で AIと対話（壁打ち等）
 教員の役割	 AIの特性（嘘をつく等）を 実演して教えるガイド	 子供とAIの対話をモニタリング し、適切な問いを促す伴走者

生成AIは「答えを出す機械」ではなく、思考を支える「補助輪」



- 人間の能力を補助・拡張する「有用な道具」
- 思考が立ち止まった時に「問い」や「視点」を提供し、壁打ち相手となる



最終的な目的は、自力で言葉を紡ぐ力
(=補助輪を外すこと) の育成

グループ協議

議題 生成AIを活用した魅力ある授業づくり

～主体的・対話的で深い学びの実現について～

協議内容

- ① AIを活用した授業実践例・アイデア
- ② 活用に向けた課題や気になること

方法

- ①上記の内容について、グループで共有する。
- ②共有したことをもとに、生成AIを活用した授業づくりについて話し合う。

授業で活用する際の ルールと留意点



安全な活用のための3原則



個人情報の保護

氏名や住所、個人の成績は絶対に入力しない。
セキュリティ教育の徹底。



著作権の尊重

AIの生成物を自分の作品と偽らない。創造性と引用の境界を学ぶ。



ファクトチェック

ハルシネーション(もっともらしい嘘)への批判的視点を常にもつ。

Geminiで作成した「AIとじょうずにつきあおう」



AIとじょうずにつきあおう

～生成（せいせい）AI

本当かな？と確かめよう

【やくそく2】うのみにしない

AIが教えてくれたことは、本で調べたり、先生に聞いたりして「ファクトチェック（本当か確かめる）」をしましょう。

「この情報は正しいのかな？」とうたがってみる目が、とても大切です。



そのまま書き写すのはダメ

- ⚠ 宿題や作文をAIに丸投げするのはやめましょう。
- ✏ 自分の考えがなくなってしまう、成長できません。
- © AIが作ったものを自分のものとして出すのはルール違反です。
- 💡 AIは「ヒント」をもらうために使いましょう。

今日から守る、5つの約束

5 RULES FOR AI

- 1 大人といっしょに使う
- 2 ヒミツ（個人情報）を入力しない
- 3 答えをそのまま写さない
- 4 本当か自分でも確かめる
- 5 AIは「ヒント」として使う

AIは「まほう」ではなく、
便利な「道具」です。 //

— 使うのは、AIではなく「あなた」です。



AIは答えを教える道具ではなく、
子供たちが『考えること』を
加速させるためのパートナーである

